

令和5年度

第4回 学校運営協議会～はりはらの会～



学習発表会 12月

令和6年2月1日(木) 10時00分から

浜松市立曳馬小学校

令和5年度 第4回 学校運営協議会 ～はりはらの会～

1 日 時 令和6年2月1日(木) 10時00分～11時30分

2 会 場 浜松市立曳馬小学校 多目的室

3 内 容

10時00分～11時30分 学校運営協議会〈多目的室〉

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認
- 5 熟 議
 - ①「学校関係者評価」について(影山)
 - ②「来年度の学校運営の基本方針」について(校長)
 - ③「学校運営協議会自己評価」(会長)
- 6 その他
 - 夢育やらまいか事業報告(教頭)

次回開催(第1回 学校運営委員会 ～はりはらの会～)

5月2日(木) 10時20分～11時30分

※日程が変更される場合があります。

学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

会 長	鈴木 厚
副会長	飯尾 忠弘
委 員	川井 啓介
委 員	小楠 和子
委 員	加藤 美智子
委 員	飯尾 智弘
委 員	池村 俊典
委 員	中津川 涼
委 員	丸茂 早織
委 員	大野木 祥代

オブザーバー

曳馬協働センター	野川 敬司
主任児童員	中村 佐知枝

学 校

校 長	竹内 孝夫
教 頭	土屋 憲司
主幹教諭 (CS担当)	影山 重広
CSディレクター	内堀 邦子

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

R5年度の計画（予定）

第1回 学校運営協議会 5月2日（火）10時20分～11時30分
熟議

- ① 「令和5年度 学校運営の基本方針」について（校長）
- ② 「学校支援の在り方」について（影山）
- ③ 「夢育やらまいか事業」について（教頭）

第2回 学校運営協議会 6月9日（金）10時20分～11時30分
熟議

- ① スタートカリキュラムについて（影山）
- ② 「学校の支援の在り方」について（会長）

第3回 学校運営協議会 9月26日（火）10時00分～11時30分
熟議

- ① 「学校の課題」について（影山）
- ② 「学校の支援の在り方」について（会長）

（12月上旬頃 学校運営協議会自己評価アンケート送付 12月末〆切）

第4回 学校運営協議会 2月1日（木）10時00分～11時30分
熟議

- ① 「学校関係者評価」について（影山）
- ② 「来年度の学校運営の基本方針」について（校長）
- ③ 「学校運営協議会自己評価」について（会長）

<p>①主体的な学びを生み出す・単元づくり ・主体的な学びを生み出す手立ての実証 ・自分発露できるスタートカリキュラム ・質の高い授業を実現する高学年教材担任制 ・基本的な学習習慣を身に付ける指導・サポート ・学年のキャリアの発達に応じて「将来」 「社会」を広げる支援</p>	<p>②今と将来、自分と社会をつなぐキャリア教育 ・算でたい4つの態度・能力を意識させる活動の設定 ・自身の成長を確認できるキャリアパス ・学年のキャリアの発達に応じて「将来」 「社会」を広げる支援</p>	<p>③モラルとスキルを系統的に高める情報教育 ・ICT機器を効果的に活用する授業づくり ・意図的・計画的にICT機器活用スキルを向上させる場の設定 ・学年の発達段階、児童・家庭の実態を踏まえたモラル指導</p>	<p>④心豊かな学校生活 ・多様性、包摂性の高い学校風土の醸成 ・児童自ら発達させていく過程を温かく支える生活指導 ・思いやり・規範意識の涵養 ・いつも、進んで、明るくあいさつすることの習慣化、教職員の率先垂範 ・集団的・組織的・系統的な課題未成熟教育の活用</p>	<p>⑤温かく細やかな個別支援 ・保護者とともに考える教育相談 ・児童個々の困り感を「チーム対応」で解決する発達支援、登校支援 ・いじめ防止基本方針に基づく適切ないじめ対応 ・個別のニーズに応じたタブレット型端末の活用</p>	<p>⑥自他を大事にする健康・安全指導 ・基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着 ・心身・命を守る知恵とスキルの習得 ・運動する楽しさを味わえる活動・環境の工夫</p>
--	---	--	---	---	--

【安心安全】

②③④⑤⑥

【連携】

①②③④⑤⑥

自己評価

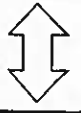
（「そう思う」「ややそう思う」の割合）

児童の評価	保護者の評価	教職員の評価	自己評価の分析・考察
90.2%	81.9%	85.7%	【アンケートの結果より】
88.9%	86.2%	89.3%	・全体的に「児童の評価」が高く、次に「保護者の評価」、「教職員の評価」の順となっている。「教職員の評価」が低めになっている。
90.7%	87.8%	82.1%	・学習では、全体的に「保護者の評価」と「教職員の評価」が、やや低い。主体的に授業で学んだことが、他の活動に生かすことができるように、今後も、さらなる「授業改善の必要性」がある。
88.9%	81.2%	81.2%	・タブレット型端末は、活用はしてきているが、マナーについては、共通理解する必要がある。
85.0%	70.5%	70.5%	・生活では、全体的には良い表れとなっているが、「あいさつと言葉づかい」「体力づくり」についてはやや低い。
86.3%	81.7%	82.1%	・「教職員（姿勢）」や「連携」については、比較的良好な結果となっている。
96.9%	93.1%	82.1%	【全国学力調査の結果より】
92.9%	91.4%	92.8%	・国語、算数等の学力は、全国平均を上回っている。特に、基礎的な内容についての理解が高い。
93.8%	91.4%	92.8%	・「教職員（姿勢）」や「連携」については、比較的良好な結果となっている。
88.4%	81.0%	92.8%	・「全国学力調査の結果より」
82.9%	81.0%	85.7%	・国語、算数等の学力は、全国平均を上回っている。特に、基礎的な内容についての理解が高い。
95.4%	94.0%	100.0%	・「いじめ対応」
89.7%	93.8%	100.0%	・「いじめアンケート」を年4回来実施し、いじめに対して、積極的な認知をしている。親や、子どもや保護者の共感ができている。
82.2%	82.2%	100.0%	

IV 学校運営協議会による学校関係者評価

III 今後の改善方針（案）

◇今後も、教職員全員で授業改善（主体的な学びや話し合い）の必要性を共有して、校内研修を行っていく。
◇総合的な学習の時間の探究活動での経験をとおして、子供たちの主体的な活動につなげていく。
◇「あいさつと言葉づかい」については、生徒指導担当と委員会を中心に、取り組んでいく。
◇「体力づくり」については、体育主任を中心に授業の充実を図ったり、学年や委員会とおして、体力づくりイベントの開催を行ったりする。
◇「いじめアンケート」「アセス」「面談」を、来年度以降も、定期的にを行い、児童、保護者、教職員の連携を促して、子供たちのよりよい成長に導いていく。



令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

真夏のセミの声がコオロギの声に変わり、季節は徐々に秋へと移り変わってきました。まだまだ残暑が厳しい日が続いていますが、2学期に入り、学習も運動も最も充実する時期となりました。子供たちは、各自目標を掲げながら活力に満ちた学校生活を送っています。

さて、このほど6年生が4月に行った全国学力・学習状況調査の結果が届きました。本校では、調査の結果の概要をまとめましたので、お知らせします。

1 国語科【知識・活用】

【状況分析と考察】

◎ 本校の平均正答率は、全国、静岡県の前平均正答率を大きく上回りました。国語科における基礎・基本の力は、身に付いている結果となりました。

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が高い設問

- ・ 漢字を正しく書き表す。 いがい (+17%)
- ・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付ける等、必要な情報を見付けることができる。 (+8%)
- ・ 情報と情報との関連、語句と語句の関連の表し方を理解し、適切に使うことができる。 (+8%)

2 算数科【知識・活用】

【状況分析と考察】

◎ 本校の平均正答率は、全国・静岡県の前平均正答率を上回りました。算数科における基礎・基本力は、国語科と同様に概ね身に付いている結果となりました。

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が高い設問

- ・ 比例の関係にある二つの数量について、求め方と答えを書くことができる。 (+6%)
- ・ 日常生活場面から、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えや式や言葉を用いて記述し、解答の結果が条件に当てはまるか、判断することができる。 (+5%)

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が低い設問

- ・ 筆算の計算において、図で表した際、どのような考えで商の計算が行われているか理解することができる。 (-5%)

3 質問紙への回答の結果から

○特に良い表れの質問

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれると思いますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・家では、自分で計画を立てて勉強していますか。学校の授業や予習を含む。
- ・1日あたりどれぐらいの時間、勉強していますか。
- ・国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることに学んでいますか。
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



など

△改善が必要とされる質問

- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。
- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- ・5年生までに受けた授業では、自分にあった考え方、教材、学習時間になっていましたか。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- ・国語の授業で、書いた文集の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか。
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。

など

今回の学習状況調査を通して、学校での友達や先生との関係が、概ね良好であることが分かりました。また、子供たちが、学習することが将来につながることを感じており、進んで家庭において、計画を立てて、学習していることが分かりました。素晴らしいことです。

いっぽう、授業では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」「自分にあった考え方、教材、学習時間を選択する」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする」「自分の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」等、主体的に取り組み、資質・能力を身に付ける活動に、曳馬小学校の子供たちは、やや欠けていることが分かりました。

今後は、教職員一同、子供たちが主体的に資質・能力を身に付ける「授業改善」を行っていきたいと思います。また、タブレット型端末の持ち帰りを通して、「家庭学習の仕方」についても、検討していきたいと思います。

令和6年度 学校経営構想 (2.1 案)

浜松市立曳馬小学校

はままつの教育が目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

曳馬中校区が目指す子供の姿

- 夢と希望と勇気をもって生きる子供
(重点)
- ・生活習慣
- ・節度節制

《学校教育目標》

未来をえがき のびやかに学ぶ曳馬っ子

《身に付ける態度・行動》

※ キャリア教育として

『曳馬っ子 4つのめあて』

！ よろこびをつくり出す 【探究・創造】

★ よさをのばす

【自尊・個性伸長】

+ 力を合わせる

【協働・共生】

→ これからをえがく

【目標・選択】

■ 学習推進

- ～ 研究主題『のびやかに 学ぶ』～
- ◎【探究・創造】を“のびやかな学び”の核とする
- ①資質・能力を確実に身に付ける授業改善
- ②自立への基礎と豊かな生活を育む生活科
探究的に取り組むはりはら学習
- ③子供主体の特別活動

■ 安心安全

- ①みんなが心地よい学校生活
- ②自他を大事にする健康・安全指導
- ③温かで細やかな個別支援

■ 創立 150 周年

- 過去を知り未来を考える

《土台とする学校風土 (経営目標)》

のびやかに(自発的・創造的・発展的に)学べる学校 [学習推進]
心身の安全が保障され、安心して生活できる学校 [安心安全]
保護者や地域と目的を共有し、共に考える学校 [連携・協働]

《目指す教職員集団の姿》

- 子供のよさや思いを大切にする
- 磨き合い支え合う
- 社会に目を向け未来を考える

未来創造への人づくり・
市民協働による人づくり

■ 連携

- ①地域・家庭との情報共有
- ・協働 ②コミュニティー・スクールの充実

PTA

学校運営協議会(はりはらの会)

地域の方々・団体

各種分野の専門家

本校の現状

《現状の考察》

夏季校内研修において全国学調の結果を検証すると、

▲学びの必要性は分かっているにもかかわらず自ら取り組んだり考えを深めたり広めたりができない。 ▲優しい気持ちがあっても行動に移せない。 といった傾向が見られ、曳馬小の子供たちの課題として「主体性」と「関わる力」が浮かび上がってきた。

また、日頃の様子からも「ひとの気持ちの分かる子」「くしくも負けない子」「まなぶ楽しさの分かる子」を合言葉とする「分かる子」「負けない子」を育てる教育から、自発的・創造的に学び考え行動し子供自身が自らを成長させていく教育に大きく転換しなければならぬと考えられる。子供たち自身が大人任せや大人のせいにならないことは、家庭生活・学校生活の充実、ひいては学級・学年経営の一層の安定にもつながると考えられる。2学期は運動会やあいさつなどにおいて主体的に関わる姿が見られるようになってきており、多方面に子供主体の取組を広げていく必要がある。

教育目標

・夢と希望に満ちた自分の将来
・全ての人が幸せになる明るい社会
をえがく

《学校教育目標》

未来をえがき のびやかに学ぶ曳馬っ子

「のびやかな学び」とは
自発的、創造的、発展的な学び

4つの力は教育活動全体を通して育んでいく。

その中でも【探究・創造】は「のびやかな学び」の核に

【探究・創造】

～ 進んで「知りたい」「やってみよう」をかなえようとする子～

- ＜大切にすること＞
- ▶ 探究のプロセス(①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現)
- ▶ “問題状況への違和感”や“理想状況への憧れ”を持つこと
⇒ 「知りたい」「やってみよう」を生み出す
- ▶ 本物に触れること

「！ よろこびをつくり出す」等は行動目標として児童に示すため語尾に「力」をつけていない。キャリアパスポートで実行できたかを振り返る。

育む資質・能力と目指す姿 留意点

【自尊・個性伸長】 ★ よさをのぼす

～ 自分のよさがわかり、自分を高める子～

- ＜大切にすること＞
- ▶ 得意を見つづけること
- ▶ 成長に目を向けること
- ▶ 「自分でよかった」と思えること

【協働・共生】 + 力を合わせる

～ 友達や周りの人と力を合わせて活動する子～

- ＜大切にすること＞
- ▶ 相手の気持ちを尊重すること(思いやり)
- ▶ 自他の役割を考えること(チームワーク)
- ▶ 違いを認めること(多様性・包摂性)

【目標・選択】

～ これからをえがく
～ 目標を立て、進むべきプロセスを自ら選ぶ子～

- ＜大切にすること＞
- ▶ 目的を考えること
- ▶ 自分(自分たち)で決めること
- ▶ 失敗から学ぶこと

※ 学年の資質・能力の具体は「曳馬小学校 キャリア教育全体計画・年間計画」参照

コミュニティスクール協力依頼

学 年	実施月	教科(領域)	内 容	必要人数
1 年	5~7月	○生活科	朝顔や野菜の水掛け、草取り	P T A・学校 企 業
	1月	生活科	昔の遊びを子供たちに教えてもらいたい。 ・けん玉・おはじき・お手玉・あやとり・こ ま・めんこ など	5~10人
2 年	5~11月	生活科	町たんけん 校区内の施設や店の案内 (コーディネーター依頼中)	若干名
	5~7月	生活科	野菜の育て方、苗の植え方	若干名
	6月	算数科	長さ ものさしの読み方 使い方	若干名
	6・7月	体育科	水泳指導の補助 顔つけ 水慣れ	若干名
3 年	11月	総合	曳馬地域についてのお話	地域・企業他
	5~8月	○理科	学年園の水掛け、草取り	P T A・学校 企 業
	通年	書写	片付けの見届け、筆の使い方指導	智弘 池村 加藤 小粥 鈴木
	6・7月	体育科	プール指導の補助	1~3人
4 年	通年	○理科	学年園の水掛け、草取り	P T A・学校 企 業
	4月	音楽	「さくらさくら」琴の演奏 他の和楽器の基 本演奏 ※検討中	2人
	10・11月	社会	のこしたいもの、つたえたいもの 地域に残る建物 芸能 祭りについて 話と建物見学	若干名
	12月	書写	書き初めの指導	智弘 池村 加藤 小粥 鈴木
5 年	5~6月	家庭科	調理実習	智弘 山崎 万木 潮崎
	6月下旬 9月	家庭科	ミシン(10)調理実習(5)	智弘 山崎 齋藤 万木 塩崎 鳥養
	7月	体育科	水泳 回泳指導・監視	1人
	9月	総合	S D G s講師	常盤工業 エネジン他
	9~10月	体育科	跳び箱 補助(できれば女性の方)	1人

	5~8月	○理科	学年園の水掛け、草取り	P T A ・学校 企 業
6 年	5~6月	家庭科	調理実習	智弘 山崎 万木 塩崎
	7~9月	家庭科	ミシン 上糸下糸のかけ方 ミシンの操作、 調整	智弘 山崎 齋藤 万木 塩崎 鳥養
	10月	総合	生き方教育講師	10人程度
	2~3月	家庭科	ミシン 卒業に向けての取り組みの手伝い	智弘 山崎 齋藤 万木 塩崎 鳥養
	5~8月	○理科	学年園の水掛け、草取り	P T A ・学校 企 業

○ P T A ・他団体・学校等で実施